



第二東名高速道路建設に伴う発掘成果

にしとみおか むこうばた 西富岡・向畑遺跡

(伊勢原市 160遺跡)

縄文時代の水場遺構を発掘

にしとみおか むこうばた
西富岡・向畑遺跡の発掘調査

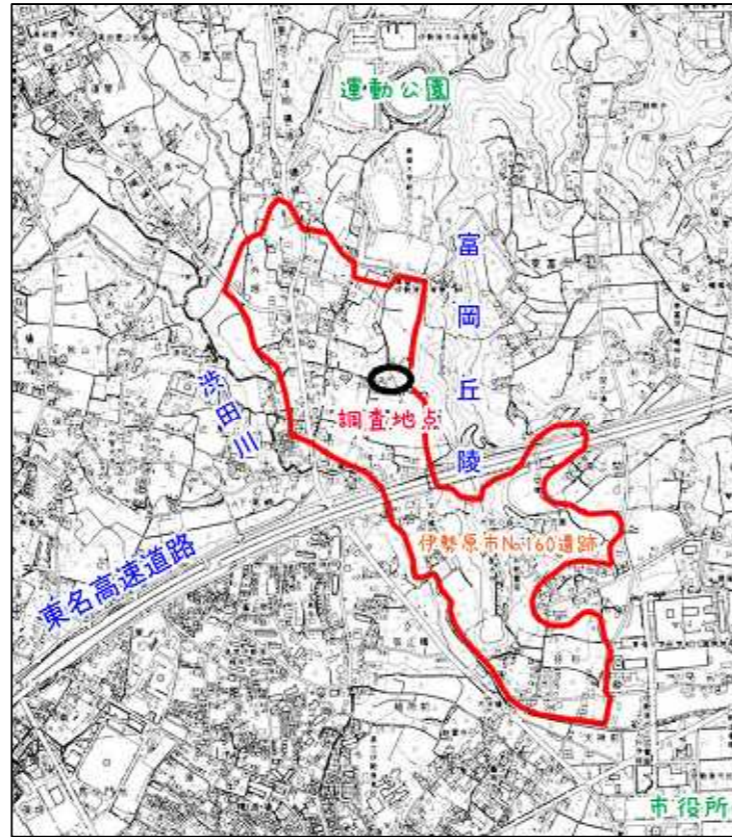
伊勢原市西富岡に所在する西富岡・向畑遺跡は、中日本高速道路株式会社が計画する第二東名高速道路建設に伴う事前調査として、2007年4月から発掘調査を実施しています。

西富岡・向畑遺跡では、これまでの調査によって、縄文時代中期から後期にかけての住居跡が11軒発見されています。今回は、埋没谷を調査していたところ、県内でも珍しい縄文時代の水場遺構が見つかりましたので、その発掘調査の成果の一部を紹介します。

* 水場遺構...湧水や川などの水場を利用するために作られた遺構。水汲み場とその水を利用した作業場の二つの機能を持っています。



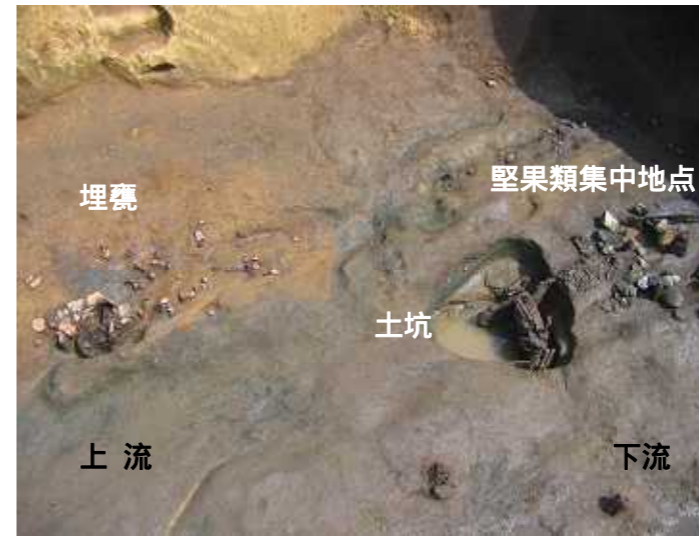
上の写真は、1区で出土した安山岩製の石棒です。縄文時代の石器です。先端部のみが見つかっており、谷に廃棄されたものと見られます。



遺跡の位置

これまでの主な発見遺構と出土遺物

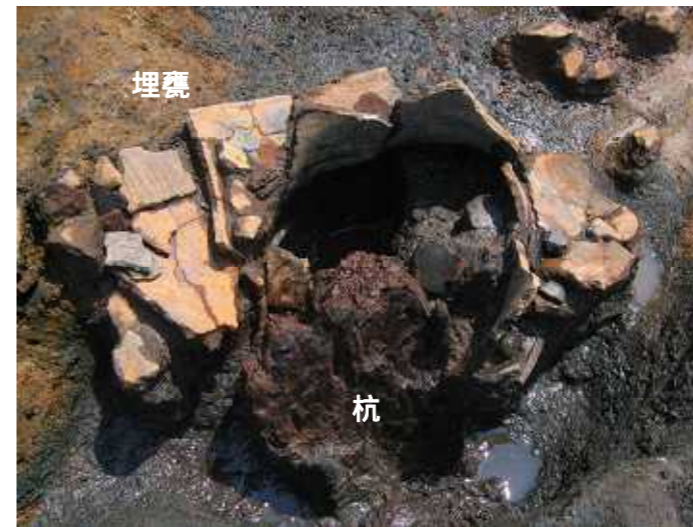
- 発見遺構**
- 中・近世: 竪穴状遺構、掘立柱建物、地下式坑、炭焼窯、道状遺構、溝状遺構、井戸、土坑など
- 古代(奈良・平安時代): 竪穴住居、竪穴状遺構、掘立柱建物 など
- 縄文時代: 敷石住居、集石、埋甕、帯状粘土列 水場遺構 など
- 旧石器時代: 礫群
- 出土遺物**
- 中・近世: 陶磁器・かわらけ・宋銭 など
- 古代(奈良・平安時代): 土師器、須恵器、炭釉陶器、瓦、銅製品(蓮帯金具...巡方・丸鞆)、金銅製品(飾り金具)、鉄製品(刀子)、石製品(砥石・温石)、土製品(土錘)など
- 縄文時代: 縄文土器、打製石斧、磨製石斧、管玉、石棒、大珠など
- 旧石器時代: 槍先形尖頭器(安山岩)、剥片(黒曜石)など



水場遺構



1土坑全景



埋甕



堅果類集中地点(クルミ主体)

1区の水場遺構の写真です。写真の左側が上流になります。水場遺構からは、埋甕と杭や横板、クルミを主体とした堅果類の集中地点とそれに隣接する土坑などが見ついています。埋甕は正位に据え置かれていました。この埋甕には、それに伴うように木材(杭?)が見ついています。また、堅果類の集中地点に隣接して、杭や土坑などが見ついています。杭は、縦横に何本か並んで見つかり、水場遺構を構成していたものと見られます。水場遺構からは、縄文時代後期の称名寺式土器や堀之内式土器が伴って出土しています。また、谷底からは、多数の土器や石器が出土しています。



第二東名高速道路建設に伴う発掘成果

西富岡・向畑遺跡(伊勢原市 160遺跡)

2009年6月20日

財団法人 かながわ考古学財団

〒232-0033 横浜市南区中村町3-191-1

045-252-8689 <http://www.kaf.or.jp/>



赤丸は、今回の調査で発見された遺構・遺物のおおよその時期を示しています。

縄文時代の垂飾品 大珠(たいしゅ)



埋没谷と縄文時代遺構の位置



9区 敷石住居



2区 敷石住居



2区 埋葬



5区 敷石住居



1区 水場遺構



4区 带状粘土列



10区 敷石住居

- 敷石住居
- 竪穴住居
- 土坑